

# クラブ創立10周年を迎えて

熊谷きり絵クラブ

会長 田鎖 敬三

私が、きり絵を始めようと思ったのは、会社を定年になり、何か永く続けられる趣味は無いかと思っていた時、市報に載っていた熊谷図書館の「きり絵体験学習会」の募集がきっかけです。

以前に新聞紙上で見た滝平二郎さんのものや、彩の国だよりの石井一臣さんのものを見て自分でも作ってみたいなど漠然と思っていたからです。

体験学習会は4回で、出来上がった作品は、6月に市民ギャラリーで作品展が開かれ、壁に展示された、額に入った自分の作品に感動したものです。

その後、きり絵を続けていきたいと言う人達でクラブとして活動をする事になり、役員を決めて、指導者は図書館側で紹介していただいた松井先生にお願いして11人でスタートしました。

その後、人数の出入りが有りましたが、現在20名で、活動しております。

最初のうちは、手当たり次第に下絵を貰って切ったり、お互いに下絵を交換しあったりしていましたが、松井先生のご指導で自分のオリジナル作品を作るための、デッサンやスケッチの練習や、新しい技法の習得などの勉強や、会員が作ってきた作品の鑑賞会で、色々な工夫や苦労話などを披露してお互いの技術の共有に努めてきました。

クラブの作品展以外のきり絵展や美術展に講師をはじめクラブ員が出品して入選、入賞などで活躍もしております。

また、クラブの作品展を年に1度は開いていましたが、平成14年からは作品展の記録を残す為に、作品をデジカメで撮影し、パソコンで編修して、作品集を作り始めました。

今回は、10周年記念として、展示作品以外の作品も掲載いたしました。

10年ひと昔と言いますが、時の流れは早いもので、あれからもう10年が経ってしまいました。

これからも、会員がお互いに刺激しあって、きり絵の創作と技術の向上に励んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、図書館の郷土・美術系の職員の方々や、クラブ員の日頃のご協力とご支援に対して、心から御礼と感謝を申し上げます。